

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産候補地地域連絡会議 平成30年度第1回沖縄島北部部会 議事概要

■日 時：平成30年6月13日（水） 15:00～16:00

■場 所：東村役場 大会議室

■出席者（敬称略）：

区分	所属	役職	氏名
管理機関	環境省那覇自然環境事務所	国立公園企画官	速水 香奈
		自然保護官	松崎 花
		上席自然保護官	小野 宏治
		自然保護官	池田 千紘
	林野庁沖縄森林管理署	森林技術指導官	曲瀬川 淳一
	国頭村世界自然遺産推進室	室長	田邊 依里子
		係長	神里 一教
		主事	仲本 いつ美
	大宜味村企画観光課	課長	福地 亮
		係長	宮城 光一
	東村企画観光課	課長	宮田 健次
		係長	池原 善史
	沖縄県自然保護課世界自然遺産推室	室長	小渡 悟
		主査	太田 真文
		主任	志賀 俊介
	沖縄県森林管理課	班長	近藤 博夫
		主任	金城 智之
主任		宮城 悠	
沖縄県観光振興課	主事	吉里 大地	
地元関係団体	国頭村森林組合	組合員	比嘉 進
	国頭村森林ツーリズムWG	代表	山川 雄二
	国頭村観光協会	事務局長	神山 徳夫
		職員	崎濱 秀彰
	国頭村教育委員会	社会教育委員長	山川 安雄
	大宜味村区長会	会長	真謝 清
	NPO法人 やんばる舎	事務局	増田 耕平
	NPO法人 おおぎみまるとツーリズム協会	理事長	宮城 健隆
	東村商工会	会長	島袋 徳和
		会長	肥後 豊光
	東村農業委員会	係長	久高 将治
		会長	小橋川 敏
	NPO法人 東村観光推進協議会 エコツーリズム部会	部会長	渡久山 真一
事務局		吉武 くらら	
NPO法人 どうぶつたちの病院 沖縄	副理事長	仲地 学	
琉球大学農学部与那フィールド	助教	高嶋 敦史	
傍聴・報道	22人		

■議 事

1. 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に関する IUCN 評価結果及び勧告の概要について
2. 評価書で指摘されている課題について
3. その他

■資 料

- 資料 1 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に関する IUCN 評価結果及び勧告の概要について
- 資料 2 評価書で指摘されている課題について
- 資料 3 その他
- 参考資料 1 推薦区域及び緩衝地帯の設定—沖縄島北部
- 参考資料 2 沖縄島北部行動計画 (H30.03 更新版)

■議事概要

議題 1. 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に関する IUCN 評価結果及び勧告の概要について

- 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に関する IUCN 評価結果及び勧告の概要について、環境省速水国立公園企画官より資料 1、参考資料 1 に基づき説明が行われた。
- 質疑は特になし。

議題 2. 評価書で指摘されている課題について

- 評価書で指摘されている課題について、環境省速水国立公園企画官より資料 2 に基づき説明が行われた。
- 質疑応答の概要は以下の通り。
 - ・大きく挙げられた指摘事項として、遺産の価値として生物多様性については十分にあるということだが、生態系・生物進化の過程については価値が認められないかもしれないということであった。IUCN の指摘としてとても厳しいものだと思うが、地域としては、これまでどおり生態系の保全に取り組んでいく必要があるのか。また、推薦区域の修正が挙げられており、これについては科学委員会が IUCN の指摘を踏まえ設定すると思うが、いつ頃に公表されたり、方向性が固まったりするのか見通しを教えて欲しい。
 - 基準については、生物進化は価値としては認められなかったが、非常に特殊な進化を遂げた地域であるということは認められており、これがあるからこそ生物多様性が豊かであるということは認められている。それゆえ、生物進化と生物多様性はある程度一体的と考えていて、何が違うのかというところだが、境界の設定がクライテリア ix 生態系と x 生物多様性では考え方が違うと言われている。生物多様性については、生物多様性豊かであり、そこに固有種であるとか、絶滅危惧種が生息していれば、生物多様性として価値が高いということである。生態系・生物進化については、人の影響をなるべく受けけない形で広い生態系のなかで進化を遂げているものだろうという考え方なので、生物多様性よりは広い視野、広い範囲で設定するべきではないかという指摘がされている。これについては、明確にどう対応していくかということはお伝えできないが、IUCN 専門家と科学委員の先生方と詰めていくものだと考えている。

- 生物多様性の保全の仕方と、生態系として広く守っていく方法は、生態系管理のうえでは、コアエリアだけでなくバッファゾーンとか周辺の外側のゾーンも含めた保全・管理の取り組みになると考える。今後、生物多様性に重点的に焦点を置くとしても、そういったバッファゾーン、周辺地域の管理はこれまでと変わらずやっていくということによいか。
- おっしゃるとおり変わらずに進めて行く。あともう一点、境界の部分だが、まだ IUCN との意見交換や、科学委員の先生方とのディスカッションがこれからなので、まだ正確にいつまでということは、お答えできないが、2月に出すのであれば、なるべく早くやらなければならないのは確かであり、かつそれに加えて区域設定については地域の方々とも調整も入ってくる。それらを踏まえ、スケジュールを立てていき、わかり次第、地域部会の場合でも御説明したいと考えている。
- ・現在、森林ツーリズムの取り組みをやる3村で進めているところであるが、そのなかでモニタリングやルール作りを実施している。IUCN の勧告のなかでモニタリングについて指摘があるが、3村で進めている森林ツーリズムのモニタリング方法を調整する必要はないか。
- 質問の意図は、3村のフィールドでどういった方法でモニタリングしていくかを地元で議論し、進めているが、その方法について、IUCN による科学的な観点から指摘があるかの確認であると理解している。
- 具体的な指摘は入らないと思う。ただ、地域の関係者とも話をしていくし、科学委員やWGの先生からの御助言はあると思うので、それを見ながら、推薦をしている地域として責任のあるモニタリングをしていけば特段 IUCN から具体的な指摘は入らないと考えている。

議題3. その他

- 世界遺産登録に向けたスケジュールと地域部会の進め方（予定）について、事務局より資料3に基づき説明が行われた。
- 質疑応答の概要は以下の通り。
 - ・行動計画の見直しについて、夏頃に開催予定の第2回の地域部会のなかで議論をしていく形だと思うが、今回かなりの指摘があり、進めて行く事項が多いと思うが、もう少し丁寧に段階を踏んで意見を集約するようなことは考えているか。
 - 昨年度末の第2回目の部会のなかで、今年度早々にも各関係団体の取り組みの進捗状況やモニタリング等を集約した結果を行動計画に反映したいというお話をさせていただいていたが、今回の部会は IUCN の勧告を踏まえ、その内容や指摘された課題を地域部会の構成員へ共有するため、緊急的に開催している。次回の部会までに、ご指摘いただいた意見であるとか、主要な課題への対応方針を管理機関のなかでも整理していくので、その中で IUCN からの課題への対応をうまく連動させる形で行動計画の見直し・検証を行っていきたいと考えている。
 - ・参考資料2で示されている行動計画のうち5) 適正利用とエコツーリズムの「5 利用の質の向上に向けた取組の強化」において、沖縄県、各村、地元関係団体が進めて行くことになっているが、民間のほうも今後の対応をどうするかとまどっている部分もあるので、このあたりを沖縄県、各村で音頭をとっていただきながら、IUCN の勧告も踏まえた今後の観光の方針について決めていっていただけるのか。
 - 勧告の中でも持続可能なマスタープランができていないということもあり、そこは沖縄県としても2月の推薦書の再提出に向けて取り組むとともに、次回 IUCN の方がいらっしゃるまでには何等かの形で示す必要があると考えている。具体的には何をするかはまだ固まっていないところもあるが、地域

の皆様ともご相談しながら進めさせていただきたい。

→推薦書の出し直しの際に入っているのがベストかと思うので、IUCNの調査がさらにその次の夏になることを考えると、できるだけ早く取り組んでいただきたい。

・行動計画については、世界遺産登録にあたり評価されていくものだと思うが、現在はまだ立ち上げの段階であり、今後の実効性の検証の部分について、どれくらいで実施できるのか。

→行動計画については、毎年各事業項目の進捗状況を各実施主体に照会することで、実効性の検証・見直しを行うこととしている。また、指標と目標が明確に定まっていない事業項目もあるため、それらの設定についても進めていきたい。指標や目標が定まっている事業項目については、進捗状況と目標・指標を比較することで、各事業項目について評価していきたいと考えている。それを地域部会にお示しした上で、こういった評価になるのが妥当であるかということを経験的に確定していきたいと考えている。

・推薦書の強化については、環境省を中心に進めて行くことになると思うが、推薦書の肉づけにあたっては地域ごとにもやらなければいけないことを粛々と取り組むとともに、課題として挙げられているものについては、来年2月の推薦書の提出までにどれだけ取り組めるかが重要だと考えているので、引き続き部会の皆様方と共に取り組んでまいりたいので御協力のほどよろしくお願ひしたい。

以上